

神戸学院大学現代社会学部公開講座

「阪神・淡路大震災と東日本大震災から何を学ぶか ～現代社会学からの提言～」

現代社会学部は、公開講座「阪神・淡路大震災と東日本大震災から何を学ぶか～現代社会学からの提言～」を開催した。似田貝香門氏（東京大学名誉教授、同大学被災地支援ネットワーク代表幹事）と開沼博氏（福島大学うつくしまふくしま未来支援センター特任研究員）の基調講演に続き、パネルディスカッションが行われ、会場からも活発な質疑応答がなされた。

『現代社会研究』第2号では、似田貝香門氏の基調講演の講演録を掲載する。

日時：2015年12月4日 13：30～17：00

場所：神戸学院大学ポートアイランドキャンパス

【基調講演】

講演1 「2つの大震災から何を学び、何を創り上げていくか～社会学の観点から～」

似田貝 香門 氏（東京大学名誉教授、同大学被災地支援ネットワーク代表幹事）

講演2 「東日本大震災のいま～いかに長期的に向き合い続けるべきか～」

開沼 博 氏（福島大学うつくしまふくしま未来支援センター特任研究員）

【パネルディスカッション】

パネリスト：似田貝 香門 氏（東京大学名誉教授、同大学被災地支援ネットワーク代表幹事）

開沼 博 氏（福島大学うつくしまふくしま未来支援センター特任研究員）

金子 勇 氏（神戸学院大学 現代社会学部 現代社会学科 教授）

伊藤 亜都子 氏（神戸学院大学 現代社会学部 社会防災学科 教授）

コーディネーター：清原 桂子 氏（神戸学院大学 現代社会学部 現代社会学科 教授）



基調講演



パネルディスカッション



写真提供:神戸市

神戸学院大学
現代社会学部
公開講座

阪神・淡路大震災と 東日本大震災から 何を学ぶか

〜現代社会学からの提言〜

日時 2015年12月4日(金) 13:30~17:00

開催場所 神戸学院大学ポートアイランドキャンパス B号館302講義室
〒650-8586 神戸市中央区港島1-1-3

主催 神戸学院大学 現代社会学部、現代社会学会

来年1月17日で、阪神・淡路大震災から21年を迎えます。
4年半たった東日本大震災被災地の今について知るとともに、
2つの大震災から、現代社会学は何を学び、どのように発信できるか提言します。

基調講演 13:30~15:10

講演 1 ▶ 似田貝香門氏 (東京大学名誉教授、同大学被災地支援ネットワーク代表幹事)

「2つの大震災から何を学び、何を創り上げていくか ~社会学の観点から~」

講演 2 ▶ 開沼博氏 (福島大学うつくしまふくしま未来支援センター特任研究員)

「東日本大震災のいま ~いかに長期的に向き合い続けるべきか~」



パネルディスカッション 15:20~17:00

パネリスト 似田貝香門氏 金子勇氏 (神戸学院大学現代社会学部教授)
開沼博氏 伊藤亜都子氏 (神戸学院大学現代社会学部教授)

コーディネーター 清原桂子氏 (神戸学院大学現代社会学部教授)

参加を希望される方は、下記にお申し込みください。(参加無料)

お問い合わせ・参加申込先 神戸学院大学現代社会学部実習助手室

電話 078-571-0929 メール gensya@css.kobegakuin.ac.jp



●三宮駅からポートライナーで9分、
みなとじま駅下車徒歩6分